

1/23 (木) **新小学1年生の喜び顔がいっぱい！  
小学校入学祝い品(ランドセル)を贈呈**



令和7年度に小学1年生になる子どもたちへ、入学祝い品のランドセルが贈呈されました。

ランドセルは、黒や赤など6色の中から事前に申し込んでいただき、駒場庁舎で新小学1年生たちに贈られました。小林宣夫町長は会場に来た子どもたちに「喜んでもらえて良かった。楽しい学校生活を送ってほしい。」と声をかけました。

ランドセルを受け取った子どもたちは、大きなランドセルを抱きしめながら、「自分の好きな色を選んだ。ぴかぴかでうれしい。」「このランドセルで小学校に行くのが待ち遠しい。」と笑顔で答えてくれました。

※この事業は、ふるさと納税を通して全国の皆様からいただいた寄附金を活用して実施しています。

1/14 (火) **福祉ヤクルト  
老眼鏡卓上セット寄贈**



水戸ヤクルト販売(株)より、商品の売上げの一部を寄贈し、地域の社会福祉活動に貢献する「福祉ヤクルト活動」として、老眼鏡卓上セット(17個)が寄贈されました。

今回の寄贈品である老眼鏡卓上セットは、主に庁舎窓口等に設置され、来庁する皆様が窓口手続きをスムーズに行えるよう活用されます。



1/20 (月) **東京都品川区  
「災害時における相互援助に関する協定」を締結**

町は、東京都品川区と、「災害時における相互援助に関する協定」を締結しました。

これまで品川区と茨城町とは、農業体験事業を通して親交を深めてきましたが、この度、防災の観点からも協力体制の構築を図ることとなりました。

この協定は、食料や飲料水、応急復旧に必要な資機材、被災者の一時受入れや住宅の提供、職員の派遣などの応援業務を円滑に行うため、災害時の相互援助体制の構築を図るものです。本協定の締結により、互いの災害対応をより強固なものにするとともに、災害以外の様々な分野での交流を深めながら、協定の実効性も高めていきます。

町では、今後も安全・安心なまちづくりを目指し、災害対策に取り組んでいきます。



森澤恭子 品川区長



**品川区 (しながわく)**

東京都の東南部に位置し、東京湾に面した臨海部と山の手に連なる台地からなる、人口412,786人(令和7年1月1日現在)、面積22.85km<sup>2</sup>の特別区です。古くから交通・交易の拠点として栄え、考古学発祥の地として有名な「大森貝塚」など、歴史に名を残す史跡も数多く存在しています。現在、羽田空港の国際化や品川駅への新幹線の停車はもとより、リニア中央新幹線の乗り入れなど、交通・産業の拠点として重要な役割を担おうとしています。

12/19 (木) **特殊詐欺や犯罪実行者募集(いわゆる闇バイト)に関わらない、堂々とした生き方を  
杉良太郎さん「特別授業～一生懸命の木に花が咲く～」講演会を開催**

歌手・俳優の杉良太郎さんが、青葉中学校全生徒に向けて講演会を行いました。

杉さんは、警察庁特別防犯対策監、厚生労働省特別健康対策監に就任しており、防犯や健康に関する対策・啓発活動を全国各地で続けています。今回はその一環として「特別授業～一生懸命の木に花が咲く～」と題し、青葉中学校の全生徒に対して、闇バイトなどの犯罪に関わらないよう注意を呼びかけました。

講演の中で杉さんは、「『闇バイト』は、バイトなどではなく犯罪実行者募集。お金は楽しんで稼げない。一生懸命働いて稼ぐからこそ、人生に生きてくる。」と訴え、「不安なときに相談できる仲間をつくるのが大事。」と語りました。

講演終了後には生徒からの質問時間が設けられ、多くの質問に対して丁寧に回答をしていただきました。「緊張しないようにするには？」との問いには「人にこびて姑息な考えがあるから緊張する。堂々と生きてほしいし、本当に怖いのは他人ではなく自分の心。」との答えがあり、「曲げられない信念は何ですか？」の問いには「約束を守ること。約束したことができないのは絶対嫌なので、常に約束が守れるかどうか考えている。」と、杉さんの人生経験を交えた答えが返る一幕もありました。

また、「講演名の『一生懸命の木に花が咲く』の花を咲かせるために、これだけはやっておいたほうがいいということはありませんか？」との質問には、「小さくても花が咲くことが重要。目標に向かって一生懸命努力する純粋な気持ちをもとに、花も実もある人生を送ってもらいたい。」とエールが送られました。



1/13 (月・祝) **防災の誓い新たに  
茨城町消防出初式**



茨城町消防出初式が、旧駒場小学校体育館において開催され、町消防団員など消防関係者約200人が参加し、防災の誓いを新たにしました。

式典では、長年にわたり消防団活動に従事した団員などが表彰され、火事や災害などにおいて人命・財産を守った功績を称えました。

また式典後には、駒場地内で県防災ヘリコプターのサイレンを合図に、一斉放水が盛大に行われました。

12/19 (木) **肉用牛生産技術の粋を集めた  
「茨城町肉用牛枝肉共励会」開催**



町内の畜産技術向上を目的とした「令和6年度茨城町肉用牛枝肉共励会」が令和6年12月16日(月)から19日(木)にかけて開催されました。

共励会には、町内肉用牛生産者が丹精をこめて育てた肉用牛35頭(和牛25頭、交雑種10頭)が出品され、19日(木)に行われた褒賞授与式において、橋本畜産株式会社が出品したA5ランクの常陸牛が名誉賞を受賞しました。

また、今回出品された和牛の全てがA5ランクであり、常陸牛の要件を満たしていることから、町内肉用牛生産者の技術の高さが伺える結果となりました。